

まめってえ通信

第25号

平成24年4月13日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
まめってえ鬼無里

理事長あいさつ



NPO法人

まめってえ鬼無里

理事長

大日方 聡夫

知事宛にNPO法人・まめってえ鬼無里設立申請書を提出した、一昨年の三月二十九日から数えて二年経ちました。昨年三月十一日の東日本大震災と、翌朝の長野県栄村の震災からも、一年以上経ちました。復興が遅々として進まない政府の無能力と、コミンまで来て「原発」にしがみつこうとする政府・財界の価値観に落胆した、社会的雰囲気ファシズムに手を貸さないか、心配です。

四月五日(木)に開催された、「第二回・農山村再生百業づくり全国ネットワーク大会」に出席するため、全国から数十名の人達が鬼無里に現れました。日本の農山村では昔、自然の生長と一緒に暮らし、その生長を多面的に活用する、多くの副業的な生業で生活(百業生活)が、営まれていました。

自然と多面的に付き合うことで、このような百業生活が実現できる、農山村地域社会の再生を目指す人々の集まりが、「農山村再生百業ネットワーク」です。

利潤のために自然法則を無視してまで、自然を支配しようとする価値観、このことが、今問われています。利潤と利便性をどこまでも追及する生活文明を、自然との共生文明に根本的に転換する必要がありますが、「その転換は都市からではなく、農山村からだろう」という、予測があります。この予測は、正しいような気がします。

新年度も、NPOまめってえ鬼無里をよろしく願います。



福寿草が咲きました。
暖かな春が、やって
来ました。

<いろは堂ギャラリー情報><http://www.irohado.com/>

2Fギャラリー 4月18日~5月7日 土屋 晃 陶芸 5月9日~5月28日 久保やすこ 植物画
5月30日~6月18日 小池智久 陶芸

まめってえ鬼無里 4月・5月のスケジュール

- 4/10 平成24年度ジム☆キッズがスタート(全48回)
- 4/27 間伐材を利用したキノコの駒打ち体験(中学校)
- 5/13 きなさのごはん 春のランチ会
石窯で山菜のピザを焼こう!(祖山 中村司さん宅)
- 田んぼくらぶオーナーさんの募集(詳細はチラシを参照)
- 5/27 田植え 9月下旬 稲刈り 10月下旬 脱穀
- えごまくらぶ・だいちくらぶ クラブ員募集!
今年も大豆やえごまの栽培をします。

4月・5月イベント案内(他団体主催)

- 4/29 奥裾花自然園開演 安全祈願祭
*奥裾花自然環境学習会(毎月1回)
きなさ市(直売所ちよっくら)
 - 5/3 *鬼無里神社春の大祭
 - 5/4 *柄山峠トレッキング
 - 5/12 水芭蕉まつり(奥裾花観光センター周辺にて)
 - 5月中旬 *一夜山ふれあい登山
 - 5/27 *砂鉢山登山
きなさ市(直売所ちよっくら)
- *の印のあるものは申し込みが必要です

土佐の森への視察研修

去る、2月22日から24日にかけて、高知県のいの市で林業を中心に活動をしている、「NPO法人土佐ノ森・救援隊」が考案した軽架線の視察に理事3名が行ってきました。暖かな春の日差しと静かに流れる仁淀川の清流、石積みのされた棚田、急勾配の山々、どことなく鬼無里に似ている風景。研修会場の山には、2m幅の林道が作られていて、手入れのいきとどいた木々が立っていました。初めて見る林内作業車、木と木の間にワイヤーを張り、いとも簡単に直径30センチはあるような丸太を引き出してくる様子にただ驚くばかりでした。手作りの研修ハウスも見せていただきましたが、ヒノキをふんだんに使い、囲炉裏が作られていて、薪ストーブも置いてありました。指導して下さった皆さんは定年を過ぎた方々でしたが、山と木の話をする時の彼らは、まるで少年のように生き生きといて羨ましくなりました。